

決算特別委員会 Q&A

防災について

Q 今年度から、防災危機管理監が不在となっているが、今後、防災に対する対策をどのように進めていく予定か。

A 災害発生時には、迅速・的確な行動がとれるよう、防災訓練を通して、職員一人ひとりの意識付けを今後も行っていきます。

Q 町内に防災行政無線はどのくらいあるのか。

A 親機のほかに、子局が46局あります。



Q 職員研修は年間どのくらい実施しているのか。

A 内部研修は、25項目延べ403人、茨城県自治研修所で実施している外部研修は、21項目延べ41人の職員が参加をしました。

Q 子ども・子育て会議の委員や内容は。

A 昨年、町が策定したこども計画に基づく会議で、福祉関係者や教育関係者等で組織されています。

Q 毎月、広報紙を2,600部発行しているが、どこに配布をしているのか。

A 行政区を通して1,526世帯に配布をしています。その他、公共施設やコンビニ等の施設に832部、残りの242部は、役場で管理をし、不足したら補充をしています。



ふるさと応援寄附金事業について

Q 返礼品の主力である米の状況は。

A 昨年からお米の需要が高まり、それに伴い寄附金額も増えている状況です。令和7年度産ブレンド米、ブランド米とも既に受付を開始し、在庫切れを起こさないよう対応していきます。

Q 口座振替手数料とは。

A 寄附者がふるさと納税を決済するためのクレジットカードや電子決済による事務手数料です。

Q 今年度のふるさと納税の目標額は。

A 令和6年度は、7億2,278万円の寄附をいただきました。令和7年度は、10億円を目標にしており、現時点では、各月の目標額は概ね達成できているところです。



Q 出産祝い金として、5万円を支給しているが、令和6年度の出生数は。

A 令和6年度は、17の方に支給をしました。

Q シン・いばらきメシ総選挙2024でグランプリを受賞したが、今後の開催はあるのか。

A 2026年の秋に開催予定です。地域おこし協力隊を中心に、新商品の開発に取り組んでいきます。

